

令和4年 おうちで田んぼ学校

限定50名
参加者
募集中



公益財団法人日本文化興隆財団 × JAグループ

春には豊作を祈り、秋には収穫に感謝する。

全国の神社でおこなわれる^{きねんさい}祈年祭、^{こいなめさい}新嘗祭はじめ、神社のお祭りの多くが稲作と深い関係があります。豊作を神様に祈るということは、米作りが簡単ではないということです。

しかし、手間暇かければ、一粒の米は千数百倍の稔りをもたらしてくれます。

まさに神がかり的な生命力です。昔の人は、この生命力を神様の力として、収穫の喜びと感謝のこころを表したのが、今に伝わる神社の「お祭り」のはじまりともいわれています。

「おうちで田んぼ学校」は、毎年開催している「田んぼ学校」での稲作を自宅で体験しながら、収穫の喜びを全国のみなさんとツイッターを通して共有しながら学ぶ事業です。

また、皆さんが大切に育てた稲穂の一部は、事務局でお預かりして伊勢神宮の^{かんなめさい}神嘗祭に^{かけちから}懸税として奉納しています。

バケツ稲セットで すぐに稲作体験ができます



参加費 2,200円



バケツ稲づくりセット (税・送料含む)

セット内容

- ・種もみと肥料
- ・良質の土 (黒土、赤玉土、鹿沼土を適正量配合)
- ・バケツ (10L)
- ・「おうちで田んぼ学校」説明書
- ・稲づくりマニュアル (平易に解説しています)
- ・絵本『いただきます』


私たちとお米の関わりについて理解できる絵本



稲の成長記録を #田んぼ学校 でツイート



ツイートしていただくのが参加条件となります

 成長記録を指定回数ツイートしていただいた方から抽選で5名様に新米をおひとり5kg進呈します。



育てた稲穂は 伊勢神宮の 神嘗祭に奉納



皆さんが大切に育てた稲穂の一部を事務局がお預かりして懸税としてまとめて、伊勢神宮(内宮・外宮)の神嘗祭に奉納します。

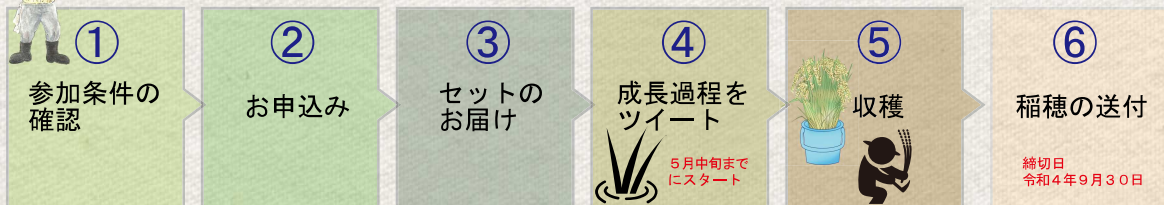
事務局にお送りいただく際の送料は参加者のご負担になります



※懸税一神社検定公式テキスト『神社のいろは』154頁参照



お申込みからバケツ稲づくり体験の流れ



① 参加条件

- 5月中旬までにバケツ稲づくりをスタートできる
 - ツイッターなどで成長記録を発信できる（事務局へメール及び写真送付も可）
- 上記が可能な方にご参加いただけます

② お申込み（50名限定）

当財団のホームページのトップ画面のバナーからお申込みください

文化興隆 検索 お支払いはクレジットカード・コンビニ決済・銀行振込
<https://www.nihonbunka.or.jp> 郵便振替でお支払いができます

③ セットのお届け

- 種もみと肥料 ○土（黒土、赤玉土、鹿沼土を適正量配合した土） ○バケツ（10ℓ）
- バケツ稲づくりマニュアル
- 絵本『いただきます』など

④ 米づくりスタート・成長過程をツイート（6回以上） ※5月中旬までに始めてください

バケツ稲づくりマニュアルに記載の

1 芽出し 2 種まき 3 苗の移しかえ 4 中ぼし 5 お米になる 6 稲かり



以上の様子を「#田んぼ学校」でツイートしてください

※ツイッター以外でも事務局にメール及び写真を郵送でもかまいません

※成長記録は毎日ツイート及び報告いただいてもかまいません

成長記録を指定回数（6回）以上のツイート、報告していただいた方から抽選で5名に新米を5kg進呈します。

メール：nihonnokokoro@nihonbunka.or.jp

送付先：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-5-10

公益財団法人日本文化興隆財団「田んぼ学校」係

⑤ 収穫

⑥ 稲穂の送付

収穫した稲穂を5本以上、約80～100cmに切りそろえてご提供ください

事務局で取りまとめ、懸税として伊勢神宮（内宮・外宮）の神嘗祭に奉納します



約80～100cm

稲穂は折れないように事務局にお送りください

送付先：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-5-10

公益財団法人日本文化興隆財団「田んぼ学校」係

締切日：令和4年9月30日（金）までに必着



ご不明なことは下記にお問い合わせください。

- 申込方法、お支払方法、ツイート、送付方法など当事業の運営に関して

公益財団法人日本文化興隆財団 ☎ 03-5775-1145 平日 11時～19時

- 稲の育て方について

JAグループ バケツ稲づくり相談室 ☎ 03-6281-5822 平日 10時～17時